



元・長生村長

石井としお通信

ホームページは「石井としお」で検索

2017年 1月 第115号

石井としお後援会

長生村七井土 1387-2

電話 090-3094-0321

今年の村長選・お世話になりました

明けましておめでとうございます。

後援会の皆様、村民の皆様、去年は沢山のご支援をいただきながら、あと一歩というところで惜敗しました。自民党、公明党、村の推薦団体43(村の補助金あり)を相手に「3,926人の方々」に「石井としお」とお書きいただき、本当にありがとうございました。

小高候補からは「国との太いパイプ」が言われましたが、太いパイプが今、年金を減額、介護保険の負担増、TPPを承認、カジノ法案成立、自衛隊を南スーダンに派遣しています。全てを国民に負担を強いる内容です。選挙後、石井としおはお世話になった方々へのご挨拶と、皆さんから頂いた要望への解決に向け努力してきました。今年一年、皆様のご多幸お祈りいたします。



—今年の10月・七井土の秋祭り—

村民から強く頂いた要望

- ・学校給食センター化は絶対にやめてほしい。
- ・認定マンモス保育園は3つの保育所廃止をと

なうものでやめてほしい。

- ・デマンド乗合タクシーは必ず実施してほしい。
- ・一人親家庭への補助を増やしてほしい。



- ・内谷川沿岸土地改良区八積支線の農業用排水路における土手の補修工事をやってほしい。
- ・一松地区の農業用排水路の整備の促進を。
- ・道路にはみ出す枝木や巨木で困っている。伐採してほしい。
- ・ゴミ出し場でカラスが散らかして困っています。
- ・夜暗いので防犯灯を増やしてほしい。

その他、沢山の要望をいただきました。特に役場近くの内谷川沿岸土地改良区八積支線の農業用排水路における土手の補修工事は緊急に対策が必要です。橋が壊れることも心配です。

また、来年度から着工予定の八積駅周辺に建設するマンモス認定こども園は3つの保育園の廃止を伴い、全村からの通園となります。学校給食のセンター化では、作るおばさんと子供たちの顔がみえなくなりますし、食中毒がいったん発生すれば小中全校に広がりますので自校給食を絶対に続けるべきです。

認定子供園・大阪で反対

大阪阿南市では市立の3保育所と4幼稚園を一気に統合する計画(定員は630人)に対し、保護者は「大勢の子供が一か所に集められたら感染症の拡大が心配」「送迎時の交通渋滞が心配」と、反対の声が起っています。奈良女子大の中山徹教授からは「行政側から認定こども園は良い施設。というが、昼過ぎに帰る幼稚園と夕方までいる保育園の子供が一緒になる為に保育の日程が組みづらく、保護者の集まりやすい時間も違いがあり、保護者会や行事の設定が難しい。そうした欠点を伝えないまま設置を進めるのは不公平」と指摘しています。(16.9東京新聞)

集団食中毒学校で発生

昨年の11月21日、新潟市東区中野山小学校で児童449人の内110人が下痢や嘔吐などの食中毒の症状を訴え欠席しました。そして同日、児童、教師の計13人が同様の症状を訴え早退しました。市の教育委員会によれば「19日の授業参観が行われ、児童や教師に給食が出されたことが原因ではないか」とのことです。

いずれにしても認定子供園と学校給食センターの建設については問題点が多すぎます。



—福島原発事故被害者・国分さん—

全国の方々にお礼回り

7月には5月22日の石井としお決起集会に福

島原発被害者「相双の会代表」の国分さんにお越しいただき激励をうけましたので、お礼を兼ねて南相馬市まで伺いました。国分さんより「当選できなくて残念でした。私は福島原発の事故で苦しんでいる県民の実情を長生村の方々にも知ってほしかった。私は自宅を壊し子供の新居となる相馬市に生活に移します。」とのことでした。

福島県甲状腺ガン145人

福島県が実施している県民健康調査によれば「甲状腺ガンの発生は145人」になった。と伝えられました。以前は甲状腺のガン疑いという発表でしたが、今回の発表はガン患者の数値となりました。(2016.12.28 毎日新聞)そして今、新潟県に避難している福島の子供に学校の先生が「菌」と呼んでいたのです。福島の子供たちはいわれなき差別に苦しんでいます。

台湾は福島事故を学び脱原発となり、ベトナムも日本の原発を購入しないことになりました。安倍総理はそのような危険な原発を世界中に輸出しようとしているのです。



8月には長野県泰阜村長に訪問しました。石井が村長就任以来、絶大なる信頼をもち指導をいただいていた松島村長との再会でした。泰阜村にはあちこちに村民と職員が協働で花を育て植えられています。最近でいいますと、村に一つしかないガソリンスタンドが「地下タンクの交換で多額の費用がかかり廃業する」ことは困るので、村の税金で地下タンクの取り換えに補助を出してスタンドを継続しています。松下村長からは「泰阜村では年齢構成の変化により、今後は村の負担が軽くなります。次の村長選挙は出馬を検討中」とのことでした。



—沖縄県北中城村村長に激励—

11月23日～25日まで沖縄県北中城村に友人と行ってきました。現職中、国民保護法の策定を国から求められたとき、新垣村長にご指導をいただきましたので、4期目の村長選出馬に向けた集会への応援でした。相手候補が同じ役場で働いてきた職員との戦いでした。250名の支援者の前で私の敗北経験を披露し「勝つと思うと負けることもあります。」という話と、平和と民主主義、村民が主人公、子育て、福祉に力を入れてきた実績を評価し、新垣村長に対する激励をしました。4期目を12月4日に見事当選でした。



—オスプレイ反対の高江テント—

11月24日には高江に日本政府が建設しているオスプレイの訓練所建設に反対するテントに集う人々を激励に行きました。私達の車は30分も止められましたが、右翼の車は検問通過でテントまで行きスピーカーで音を出して帰りました。高江村の集落150人が近くに住んでいて、お話を聞きますと「一人を除き全員反対の決議を自治会でしたが工事を進められている。自然が壊され

危険なので反対です。」とのことでした。



心配していたオスプレイが12月13日名護の海岸に墜落事故を起こし

ました。12月7日の千葉県議会一般質問で木更津選出の森県議(自民党)からは「当初は事故を起こしていたオスプレイだが、改良を重ねて今は安全です。」とのことでしたが、やっぱり事故発生です。危険なオスプレイは木更津にも定期整備で飛来することになりました。

高江地区は希少な鳥、ヤンバルクイナが生息していることで世界的にも有名で、他の珍しい動物も沢山生息しています。自然破壊とさらなる事故を心配しています。アメリカ軍の沖縄最軍責任者ニコルソンは「人名にケガなし感謝せよ」日本政府の見解は「不時着事故」翁長知事は「嚴重に抗議する」とのこと。宿泊したホテルの女性は「沖縄は基地の中に生活している」と不安な表情で話していました。



憲法講演会が開催

12月11日、大網白里市保健文化センターにおいて「憲法講演会実行委員会」の主催で憲法講演会が開催されました。講師は沖縄県選出の国会議員、糸数慶子さんでした。近隣の自治体

からは現職・元職の議員(東金、横芝光町、長生村、一宮町)、県知事予定候補、11区統一候補を目指す方の紹介もありました。以下、報告。

「沖縄の経験を千葉にも」

沖縄では全ての選挙区に自民党以外の国会議員が選出されています。翁長知事は自民党ですが、日米安保条約は認めつつ「沖縄に新たな基地はつくらせない」と言って頑張っています。

7月の参議院選挙では伊波さんが現職の自民党議員を破り当選しました。沖縄では「日米地位協定」があるせいで、高校生が青信号で渡って米兵にひき殺されたが処分されず帰国しています。沖縄は日本国憲法が適用されていない。辺野古への新基地建設で言えばお年寄り「辺野古の海で豊かな海藻類や魚を取って孫達を高校に行かせてきた、この海を守りたい」「軍事基地から油が海に流されたらイヤだ」と、言っています。安倍総理はカジノを作ろうとしています。沖縄の基地使用のお金でギャンブルに走りパチンコ店で自殺している方もいます。韓国のカジノでは16ヶ所のうち黒字は一つです。

今、年金が減額され、介護保険の負担が増え、過労死で自殺する方も増えています。南スーダンに自衛隊を派遣命令しました。自衛隊員の生命と殺し合いを心配しています。オール沖縄で頑張ってきた私達の経験を千葉でも実現し野党がまとまって安倍政権の暴走を阻止しましょう。

講演を聞いた参加者の声

- ・沖縄のことを知っていたつもりでしたが、生の話を聴けて、沖縄県民の苦しみと怒りが分かった。
- ・系数さんのお母さんが子供を亡くしたお話しや高校生が米軍に殺されても処分されなかった話にはビックリです。聞いていて涙がでました。
- ・毎回、憲法講演に参加してお話を聞いてきましたが今回が一番良かった。
- ・自民党支持者の方や若い方にも今日の話を知

いてほしかったと思いました。

- ・日曜日で参加を悩んだが参加して良かった。



12月の千葉県議会を傍聴しました。村長選挙時、2回も長生村まで応援にきていただきました。

した鎌ヶ谷選出の藤城県議の質問です。

Q日本国憲法の順守について知事に伺う。

A(森田知事)憲法は国の最高法規であり憲法を尊重し順守することは知事として当然です。また安全保障関連法は憲法から越脱していないと考えます。※この答弁以外は全て部長答弁でした。

Q木更津にオスプレイを配備する安全性は。

A(部長)木更津に配備するオスプレイは国が総合的に判断するもので自治体としても協力する必要があると考えます。オスプレイの配備は住民の安全性を国に要望します。他にも。

・マイナンバー・福島原発事故の現状・小中教員の長時間労働について。などの質問もありました。※尚、県議会の質問は一年に一回しか与えられていません。県知事の答弁は4~5分でした。担当部長に全てを任せるのではなく、森田知事という言葉で直接聞きたかった。率直な感想です。

編集後記

- ▼久しぶりに石井としお通信を発行しました。今回は村長選挙後の近況報告となります。皆様より「石井は何をしている」という声もありましたので、今回の編集内容をご理解ください。
- ▼今年は県知事選が3月、茂原市議挙は4月に予定されます。県民本位、市民本位で仕事をされる方の当選を願っています。
- ▼この石井としお通信は会費と募金で発行しています。(後援会内部討議資料)